

# 山伏

2014 年 3 月 22 日（土）晴れ

高木 Y

2014 年に 2014m から富士山を拝む！という目的で山伏へ。

登山口到着までに色々アクシデントがあり、完全に心が折れてしまった。

梅ヶ島温泉だけ入って帰ろうかとも思ったが、そんな報告も悔しいので春山トレーニングだと思って登る事にした。

8 時時点で駐車場は 9 台ほど埋まっていた。

巨岩までは凍結した部分があるが雪も少なくつぼ足で登る。

巨岩から蓬峠の間で凍結した岩場が出てきたのでアイゼンを付けた。

連峠を越えて 1800m 辺りで先行者が数名見えたので何となくその後を追うように歩いていると、「トレースがない！」という大きな声が・・・

明瞭なトレースとピンクリボンがあったのだが、夏道に来てしまっていたようだ。

仕方がないので尾根方向に向かって近場の急斜面をよじ登ることにした。

ピッケルを出そうかとも思ったが、ストックでなんとかいけた。

尾根から外れる時は充分注意しているつもりだが、先行者がいるからと気が緩んでいたようで大反省だ。

尾根に出ると冬道のトレースとピンクリボンもあり一安心である。

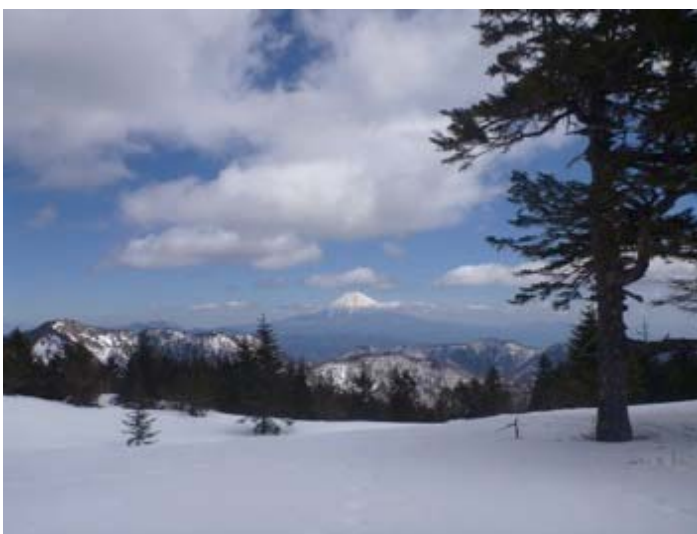
あとはひと登りすれば縦走路出合で、ゆるやかな斜面の先が山頂だ。



縦走路出合から山頂へ



2014 年に 2014m !



富士山がクッキリ

天候がよく、山頂からは富士山と南アルプスもクッキリと見えていた。  
山頂でゆっくりしていると見知らぬ男性から声をかけられた。  
なんと、山岳会への勧誘であった！しかも 30 年前に当会に短い間だが所属しておられたそうで、なんとも奇遇である。



山で若者（と言って頂けるのは山世界だけだが・・・）に広報活動をされているようだ。  
雪山で単独の女は目立ったのであろうか。

山頂で1時間もゆっくりして、あとは往路下山である。  
アイゼントレーニングを兼ねて、登山口までアイゼンを付けたまま下山した。

登山口まで後少し、というところで業務用ケーブル（？）が動いてきた。



現役だったケーブルカー

現役で動いているんだなあと思って見ているとワサビ農家の方が下りてきて、  
「乗ってみたいだろ？乗ってもいいぞ。さあ、乗れ」  
と言われ、何故か乗る事に。



乗っているところ

ガタガタ揺れるがアトラクションのようで面白かった。  
登山口まで乗せてもらって、歩いて駐車場まで戻り下山終了である。

<タイム>

西日陰 P(8:15)—(9:00) 巨岩 —(10:00) 蓬峠 (10:15)—(12:05) 山伏山頂  
(13:00)—(15:10)P